



お問い合わせ先: contact-ieej@tky.ieej.or.jp

要事前登録 / 参加費無料 / 日英同時通訳

日時 2024年9月17日(火) 13:00-17:00

申込締切 2024年9月13日(金) 正午 定員に達した場合は、これより前に締め切ります

開催形態 ハイブリッド開催 ご登録後に Zoom リンク、又は会場詳細をお送りいたします

実会場 東京大学 本郷キャンパス 東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール **オンライン** Zoomアプリケーション

主催 東京大学公共政策大学院 (GraSPP) **共催** (一財) 日本エネルギー経済研究所 (IEEJ)

開催趣旨 中東情勢、ロシア・ウクライナ情勢等、地政学的リスクの増大により、国際エネルギー情勢の不確実性が高まっている。この結果、パリ協定以降、温暖化防止に大きく軸足を置いてきた各国のエネルギー政策においてエネルギー安全保障が最重要課題として再浮上している。他方、1.5°C安定化、2050年カーボンニュートラル目標から逆算したありうべきエネルギー転換の絵姿と現実とのギャップが拡大している。野心的なエネルギー転換はエネルギーコストの上昇を招き、政治・経済・社会的な持続可能性を難しくする可能性がある。加えて欧州議会選挙、米大統領選等がエネルギー、温暖化をめぐる国際環境にも及ぼす影響も不透明である。脱炭素化という大きな流れの中で、各国は自国の国情に応じ、エネルギー転換に伴うコストを最小化する形で「多様な道筋」を追求している状況にあり、日本でも第7次エネルギー基本計画の策定を巡る議論が開始された。本シンポジウムではエネルギー安全保障、1.5°C目標を中心とした脱炭素化をめぐる国際情勢を俯瞰し、日本のあるべきエネルギー戦略の方向性への示唆を得ることを目的とする。

不確実性を高める エネルギー安全保障と 地球温暖化をめぐる 国際情勢

お申し込み先

www.pp.u-tokyo.ac.jp/INPEX/



13:00-13:10 **オープニング** 川口 大司 東京大学公共政策大学院院長

13:10-13:20 **来賓挨拶** 橋高 公久 (株) INPEX 特別参与 / (株) INPEX ソリューションズ専務取締役

13:20-14:50 **第1セッション: 不確実性をます世界のエネルギー安全保障状況**

基調報告+モデレーター

小山 堅

日本エネルギー経済研究所専務理事 / 東京大学公共政策大学院客員教授

パネリスト

Jason Bordoff

米国コロンビア大学気候変動研究大学院 (クライメートスクール) 初代共同学院長 / 同大学国際公共政策大学院・グローバル・エネルギー政策センター初代所長

Peter Wood

シェル チーフ エネルギー アドバイザー

松尾 博文

日本経済新聞コメンテーター兼上級論説委員

14:50-15:00 **コーヒープレイク**

15:00-16:30 **第2セッション: 1.5°C目標の実現可能性**

基調報告+モデレーター

有馬 純

東京大学公共政策大学院特任教授

パネリスト

Indrajit Bose

サード ワールド ネットワーク 気候変動シニア リサーチャー

Roger Pielke Jr

米国コロラド大学 ボルダー校 教授

本部 和彦

東京大学公共政策大学院客員研究員

16:30-17:00 **ラップアップ: 不確実性の下で日本のめざすべきエネルギー戦略の方向性**

小山客員教授、有馬特任教授によるトークセッション

司会進行: 殿木 久美子 東京大学リサーチ・アドミニストレーター



橋高 公久



小山 堅



Jason Bordoff



Peter Wood



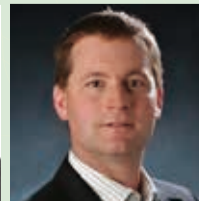
松尾 博文



有馬 純



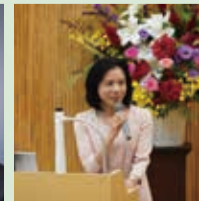
Indrajit Bose



Roger Pielke Jr



本部 和彦



殿木 久美子